

奈良医学雑誌

第 49 卷 第 1 号

平成 10 年 2 月 28 日

目 次

- 1) 経皮的冠動脈形成術後再狭窄病変での heparin-binding epidermal growth factor-like growth factor の血管平滑筋細胞内発現亢進：冠動脈アテレクトミー切除標本を用いた *in situ* ハイブリダイゼーション法による検討 齊藤 精久 (1)
- 2) C型肝炎ウイルス感染を認めた非ホジキンリンパ腫例および多発性骨髄腫例の検討
—多施設共同研究の成績— 吉川 正英 (10)
他 40 名
- 3) 一時的脳虚血におけるプリン代謝産物と脳軟膜動脈血管径 富永 正夫 (16)
- 4) 喀痰中サイトカイン測定による慢性閉塞性肺疾患患者の気道炎症に関する研究 山本 智生 (25)
- 5) 髄液中アデノシンデアミナーゼ活性の上昇から早期に診断された結核性髄膜炎の 1 例 齊藤 精久 (34)
他 8 名
- 6) ネフローゼ症候群を呈した糖尿病性腎症の臨床病理学的研究 金内 雅夫 (39)
他 3 名
- 7) 糸球体基底膜にびまん性の菲薄化を示した進行期アルポート症候群の 1 例 井澤 鉄之 (45)
他 5 名
- 8) A male case of kallmann's syndrome: fertility induced by gonadotropin (hCG/hMG) therapy
..... Shingo OKAMOTO et al. (50)
- 9) A case of type II polyglandular autoimmune disease (Schmidt's syndrome) associated
with a myopathy of unknown etiology Shingo OKAMOTO et al. (57)
- 10) A case of cushing's syndrome associated with isolated adrenocorticotropin (ACTH) deficiency
after the removal of cortisol-producing adrenal adenoma Shingo OKAMOTO et al. (64)
- 11) A case of occult ectopic corticotropin ACTH syndrome maintaining remission state over
4 years after bilateral adrenalectomy Shingo OKAMOTO et al. (74)
- 総合研究施設の運営状況 上大谷 昇八 (84)

奈良医学会

奈良県立医科大学

〔634-8521〕 橿原市四条町

奈 医 誌

J. Nara Med. Ass.

JOURNAL OF NARA MEDICAL ASSOCIATION

Vol. 49 No. 1

February 28, 1998

CONTENTS

- 1) Enhanced expression of heparin-binding epidermal growth factor-like growth factor of smooth muscle cells in the restenosis after percutaneous transluminal coronary angioplasty :
In situ hybridization study of resected specimens obtained by directional coronary atherectomy
.....Kiyohisa SAITO... (1)
- 2) Prevalence of hepatitis C virus infection in patients with non-Hodgkin's lymphoma
and multiple myelomaMasahide YOSHIKAWA et al... (10)
- 3) Purine catabolites and pial arteriolar diameter in transient cerebral ischemia
.....Masao TOMINAGA... (16)
- 4) A study of airway inflammation in chronic obstructive pulmonary disease assessed
by sputum levels of cytokinesChinaru YAMAMOTO... (25)
- 5) A case of tuberculous meningitis with elevated activity of adenosine deaminase
in cerebrospinal fluid in the early stageKiyohisa SAITO et al... (34)
- 6) Clinicopathological study of diabetic nephropathy associated with nephrotic syndrome
.....Masao KANAUCHI et al... (39)
- 7) An unusual case with advanced stage of alport's syndrome exhibiting diffuse thinning of
the glomerular basement membraneTetsuyuki IZAWA et al... (45)
- 8) A male case of kallmann's syndrome : fertility induced by gonadotropin (hCG/hMG) therapy
.....Shingo OKAMOTO et al... (50)
- 9) A case of type II polyglandular autoimmune disease (Schmidt's syndrome) associated
with a myopathy of unknown etiologyShingo OKAMOTO et al... (57)
- 10) A case of cushing's syndrome associated with isolated adrenocorticotropin (ACTH) deficiency after
the removal of cortisol-producing adrenal adenomaSingo OKAMOTO et al... (64)
- 11) A case of occult ectopic corticotropin ACTH syndrome maintaining remission state over
4 years after bilateral adrenalectomyShing OKAMOTO et al... (74)
- Present status of Laboratories for Medical ResearchShohachi UEOHTANI... (84)

THE NARA MEDICAL ASSOCIATION

NARA MEDICAL UNIVERSITY
KASHIHARA, NARA 634-8521, JAPAN

総合研究施設の運営状況

平成5年10月、奈良県立医科大学に総合研究施設が開設され、同時にこの施設の管理母体として総合研究施設部が発足して5年目を迎えることとなりました。この施設は、21世紀の医学、医療の高度化、多様化をにらんで、それらの基礎となる医学研究の充実、活性化を図る目的をもって、それまで大学内に分散していた「動物」、「大学院中央」、「組換えDNA」、「ラジオアイソトープ」の各施設を共同利用施設として一カ所に統合するとともに大幅に施設の整備、拡充を図ったものであります。

開設以来、この施設は学内の研究（とりわけ先端技術分野での高度な研究）中枢拠点として発展をとげ、利用者数は年毎に増加の一途をたどっています（ちなみに平成8年度の利用状況は下図に示すとおり）。

〈平成8年度利用状況〉

1. 動物実験施設

利用者数（延べ）12,055人

実験申請件数 657件

飼育動物数

動物種	飼育数(1日平均)	動物種	飼育数(1日平均)
ラット	2,430	ヌードマウス	164
マウス	678	ネコ	13
ハムスター	330	ブタ	0.4
砂ネズミ	123	雑犬	51
ウサギ	75	ビーグル犬	26
モルモット	9	サル	10

2. 組換えDNA実験施設

実験従事者数 185人

実験課題数 54件

3. ラジオアイソトープ実験施設

業務従事者登録者数 255人

核種別購入量（単位：MBq）

核種	5階 RI 実験室	4階 DNA・RI 実験室
³ H	166.50	
¹²⁵ I	351.995	
¹⁴ C	85.10	
³² P	1,825.95	1,133.75
³⁵ S	157.25	
⁵¹ Cr	555	
³³ P	46.25	

そしてその優れた施設環境は、前年11月の文部省による本学視察の際にもそうであったように、本学の誇るべき施設として内外から高い評価を得ているところであります。昨今の極めて厳しい県の財政事情のなかにあっても、平成8年度においては、980万円の高圧蒸気滅菌器をはじめ総額で4000万円弱の、平成9年度においては、1430万円のX線照射装置をはじめ総額で3000万円弱の大型備品を導入することができましたが、今後ともさらなる施設整備を図るとともに利用上の安全性の確保にもよりいっそう意を注いでまいり所存であります。

さらにこれらのことに加え、各施設の管理者のサブスタフの整備、事務職員の拡充など、部としての組織的充実を図っていくことが今後の大きな課題であると考えています。

ところで平成8年度より総合研究施設部は、本来なら情報処理部門で対応すべきであるような「研究用コンピュータネットワーク事業」も併せて担当しています。平成8年度と平成9年度の2カ年で学内LANの構築工事を行い、前年の秋には医大のホームページを立ち上げ学内外に医療を中心とした情報を発信しています。今後、ホームページのコンテンツの充実を図っていくのはもちろんのこと、インターネット社会における有効な情報発信のありかたを探ってまいりたいと考えています。

また前年度より医学の最先端分野のセミナーを年1回開催することを事業化し、第1回目の昨年は、東大医学部教授の勝木先生によるノックアウトマウスについての講演会を開催しました。

小西陽一郎長（腫瘍病理学教授）の下、上野聡先生（組換えDNA実験施設管理者）、森俊雄先生（RI実験施設管理者）、久保薫先生（動物実験施設管理者）および事務部の職員が一丸となって、施設の管理、運営にとどまらず様々な事業を展開している総合研究施設部の業務内容と研究施設自体の運営状況をざっとスケッチさせていただきましたが、今後ともよろしく願いいたします。

総合研究施設部次長 上大谷昇八

奈良医学雑誌投稿規定

奈良医学雑誌は総説・原著・症例報告・学位論文・見聞記などを掲載するものであり、各論文の構成内容は下記のとおりとする。また投稿に際しては、各論文表紙に総説・原著・症例報告・学位論文・その他の別を明記すること。

1. 総説の構成は以下のとおりとする。
 - 1) 表紙：論文タイトル，所属，著者名，ランニングタイトル(英文，スペースを含40字以内：和文，40字以内)
 - 2) 抄録：和文400字以内とする。Key Word (5語以内)
 - 3) 本文・図表：構成は著者に一任する。
2. 原著・症例報告の構成は以下のとおりとする。
 - 1) 表紙：和文と英文の論文タイトル，所属，著者名，ランニングタイトル(英文，スペースを含40字以内：和文：40字以内)
 - 2) 抄録：英文300語以内とする。Key Word (5語以内)
 - 3) 本文：和文あるいは英文で緒言・材料と方法・結果・考察・結論・謝辞など・文献の構成とする。
 - 4) 図表：英文で説明文をつける。

3. 学位論文の構成は以下のとおりとする。
 - 1) 表紙：論文タイトル，所属，著者名，ランニングタイトル(和文40字以内)
 - 2) 抄録：和文400字以内とする。Key Word (5語以内)
 - 3) 本文：和文で緒言・材料と方法・結果・考察・結論・謝辞など・文献の構成とする。
 - 4) 図表：和文で説明文をつける。
4. 見聞記・その他の構成は以下のとおりとする。
 - 1) 表紙：タイトル，所属，著者名
 - 2) 本文：構成は著者に一任する。400字詰め原稿用紙数枚とし，図表は5点以内が望ましい。

各項目の記載事項の詳細については以下のとおりとする。

I. 表 紙

1. 和文では表題，所属，著者名の順に記す。
2. 英文の表題，著者名(名を前に姓を後に)，所属は原著と症例報告のみとし，表題と著者名はすべて大文字とし，省略しない。2名以上連記の際は最後の著者名の前に，and をつける。

(例) 治療的エキシマレーザー角膜表層切除術後の遠視化の原因について

奈良県立医科大学眼科学教室

桜井一郎，竹谷 太，魚里 博，原 嘉昭，西信元 嗣

大淀町立大淀病院眼科

名和良晃

THE CAUSES OF THE HYPEROPIC SHIFT AFTER EXCIMER LASER PHOTOTHERAPEUTIC KERATECTOMY

ICHIRO SAKURAI, FUTOSHI TAKETANI, HIROSHI UOZATO,
YOSHIKI HARA and MOTOTSUGU SAISHIN
Department of Ophthalmology, Nara Medical University

YOSHIKI NAWA
Department of Ophthalmology, Oyodo Municipal Hospital

う説明⁷⁾は

2. 文献は別紙に一括し、欧文はダブル・スペースでタイプすること。

3. 雑誌からの論文引用はつぎの記載法に従う。

(1) 文献の記載順序

引用番号) 著者名: 題名. 誌名巻: 頁 (開始-終り), 年号.

(2) 著者名: 日本人名は姓・名ともに記し, 省略しない. 外人名は姓のあとに名の頭文字のみを略記する.

(例) 岡田以蔵:

Roughton, F. J. W.:

連名の文献は下記の例に従い, 全著者名を列記する.

(例) 井口 潔・尾前照雄:

Guyton, A. C., Granger, H. J. and Coleman, T. C.:

(3) 雑誌名は慣用の省略法に従い, 外国文献は Index Medicus 所載のものに準ずる. 省略法の不明なものは独断的に大省略せず, 必ずわかる程度の省略にとどめること. なお, 雑誌名の省略に関しては図書館司書に一度相談されるのがよい.

同一の文献を引き続いて引用する場合も, “同”, “ibid.” は用いない.

(4) 雑誌の巻は太字 (ゴシック) で印刷するが, 原稿にはアンダーラインをつける.

(5) 和文文献の年号は西暦に統一する.

(例) 3) 望月光治: 歯原性角化嚢胞の研究—主にその増殖能に関して. 奈医誌. 39: 134-154, 1988.

4) Knight, J. S. and North, J. F.: The classification of malar fractures an analysis of displacement as a guide to treatment. Brit. J. Plast Surg. 13: 325-339, 1960.

4. 引用単行本の記載は次のように統一する.

引用番号) 著者名又は編者名: 書名. 版, 発行所, 発行地, 引用頁, 年号.

(例) 16) 小松勇作: 数理生物学概論. 中山書店, 東京, p 31, 1950.

17) Weiss, P.: Genetic neurology. 1st ed., Chicago Univ. Press, Chicago, p 53, 1950.

18) Gottschalk, A.: Current Status of

chemotherapy in metastatic renal carcinoma in The Enzymes (Boyer, P. D., Lardy, H. A. and Myrback, K., eds.), 2nd ed., Vol. 2, Academic Press, New York, pp.67-72, 1960.

VII. 校正・その他

1. 投稿には 400 字詰 (20×20) 原稿用紙 (A 4 判または B 5 判) を用いること.

ワープロ使用の場合は, 原稿用紙書式 20×20 字で作成すること.

2. 校正は原則として初校, 再校を著者において行う. 初校後原文はそのまま返却するが, 写真版は印刷完了まで預る.

3. 校正の段階で大幅な内容の変更を行ってはならない. そのような場合には, 印刷を次号まわしとする.

4. 校正には赤字を用い, 校正の記号は慣例に従うこと.

5. 校正は 48 時間以内に編集部に戻すこと.

6. 初校時に別冊の希望数を表紙に明記する. 別冊は 30 部までは贈呈し, それ以上は著者負担とする.

7. 掲載の順序は原稿の到着順とするが, 編集の都合上同一号における順序を変更することがある.

8. 投稿は奈良医学会会員に限る (会員は会費年額 4,000 円を編集部へ納入する).

9. 会員は本文 (印刷頁) 3 頁まで無料とする.

10. 発行は年次 1 巻 6 号とする.

11. 投稿は編集主幹または直接下記へ送付されたい.

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 奈良県立医科大学腫瘍病理学教室内 奈良医学雑誌編集部

(Tel. 0744-22-3051 内線 2253)

補足 I. 適切な Key word の選び方

文献を網羅的に探したり, 特定の情報, データを検索するには, まず何らかの手掛かりとなるものが必要である.

主題を手掛かりとする場合, 奈良医学雑誌では SUBJECTS INDEX が利用される. しかも, この索引は研究の内容を最もよく知っている著者自身が Key words として指示した用語をもとに作成される仕組みになっている. すなわち, 著者の採用した用語は, それを利用する人が必要な文献を能率的に検索する手引となる. したがって, どのような用語を採録するかは重要なことであり, 著者は充分考慮しなければならない. 基本的には, ある主題・概念をできる限り明確に表す最も適切な用語を使用することであるが, 次にいくつかの指針となるものを

投稿規定概略

1. 奈良医学雑誌は、奈良医学会の公的雑誌として奈良医学会員による総説・原著・症例報告・学位論文及び見聞記などを掲載する。
投稿は、奈良医学会員（年会費 4,000 円）に限るものとし、奈良医学雑誌編集部（本館 1 階, Tel. 0744-22-3051 ext. 2253, Fax. 0744-23-7508 係：恵 ひろ子）へ原本 1 部を持参又は郵送する。
2. 論文の採否は、編集委員又は査読者の結果をもとに編集主幹が決定する。
3. 原著と症例報告は英文 300 語以内の抄録をつけ、図および表の説明は英文とする。
4. 学位論文は、単独名で表題・抄録・本文と図表の説明は、日本語の現代文・楷書・現代かなづかいにより記載する。
5. 原著・症例報告・学位論文の謝辞・文献・その他は投稿規定の細目に従う。
6. 編集主幹は、編集委員会の同意のもとに投稿を依頼することができる。
7. 投稿論文作成の詳細は、奈良医学雑誌投稿規定に従う（各年の最終号に掲載する）。
8. 査読期間は論文受領後、2 週間とする。
9. 原著・症例報告と学位論文の掲載は、印刷頁 3 頁まで無料とし、超過分は著者負担とする。別刷は 30 部まで無料とする。
10. 依頼原稿については、9. の規定を除外する。

編集主幹：小 西 陽 一（腫瘍病理学）

編集委員：白 井 利 彦（皮膚科）、松 永 喬（耳鼻咽喉科）、

喜 多 英 二（細菌学）、中 野 博（病態検査学）、

吉 原 紘 一 朗（生化学）、米 増 國 雄（図書館長）

連絡先：〒 634-8521 奈良県橿原市四条町 840 [TEL 0744-22-3051]

奈良県立医科大学腫瘍病理学教室

奈良医学雑誌編集部

奈良医学雑誌 第49巻第1号

（非売品）

平成 10 年 2 月 25 日 印刷

平成 10 年 2 月 28 日 発行

編集兼発行者：小 西 陽 一

印刷者：前 田 政 昭

印刷所：前田進行堂印刷

（株）前田グラフィック・アーツ

[606-0964] 京都市左京区松ヶ崎修理式町 3-7
[605-0074] 京都市東山区一ノ橋野本町 43

発行所：奈良医学会
奈良県立医科大学

[634-8521] 橿原市四条町

JOURNAL OF

NARA MEDICAL ASSOCIATION

Vol. 49, No. 1

Executive Editor:

Yoichi KONISHI, M. D.

Editorial Board:

Toshihiko SHIRAI, M. D., Takashi MATSUNAGA, M. D.,

Eiji KITA, M. D., Hiroshi NAKANO, M. D.,

Koichiro YOSHIHARA, M. D., Kunio YONEMASU, M. D.

Published by Nara Medical Association,

Nara Medical University,

Kashihara, Nara 634-8521, Japan
